



ひ ゆ ー ま ん ら い つ

第70号 平成18(2006)年9月

第4回誰でも人権談話室

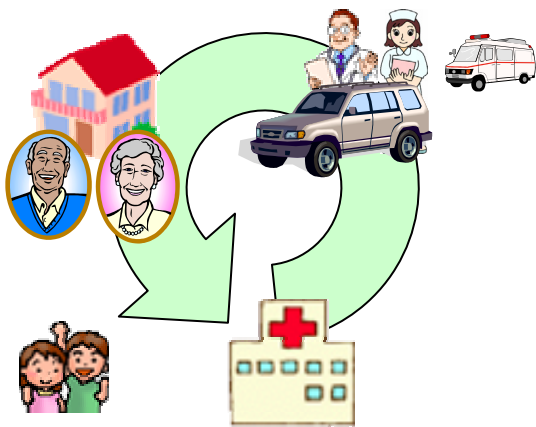
地域医療における高齢者の人権

9月12日、市民向け学習講座第4回「誰でも人権談話室」を、日南病院院長の高見 徹さんを講師にお迎えし開催しました。

町は大きなホスピタル

日南町は、現在高齢化率 43%です。高齢化では日本の 30 年先を歩んでおり、このような状況に地域の要望が加わり地域医療への取り組みが必然的に生まれました。現在は高齢化社会に対応できる過疎の町の地域医療の最先端となっています。その先導役が、高見院長です。

ポイントは「生活自立障害」を持つ高齢者の支援を住民・保健・医療・福祉関係者と行政が一体となって総力を挙げて遂行することであるといわれています。



地域の観点からの医療分類

(1)高度先進医療

検査・診断・治療に高度の技術を要する

(2)一般医療

一般に見られる病気の診断・治療をする

(3)先進地域医療

生活自立障害を持つ方を地域で支えるようにする

町は大きなホスピタル

- ・ 町の道路は病院の廊下
- ・ 各家庭は病院のベッド
- ・ 各家庭は老人保健施設
- ・ 各家庭は老人福祉施設

- * 現在の高齢者は住み慣れた家で過ごすことをのぞんでいる
- * 地域には高齢者を元気にする力がある

町は大きなホスピタル。医療エリアが面積 340k m²という広さのため、「待っている医療」では住民の望む医療サービスは不可能であるということで、昭和 59 年度から訪問看護を実施し、院長自らが行う訪問診察との2本柱で在宅医療を展開してきました。外来診療を終えた午後からは、病院の在宅訪問用の車が「病院の廊下」のごとく町内各地を走り回り、町民から「医療の出前」と言われています。また、平成 13 年から江府消防署生山出張所と協力して、救急車に日南病院の医師が同乗するシステムを継続して実施しています。日南町の実践は、やがてまもなく「高齢化率 30%以上」が到来する米子市にも適合し、将来東京のど真ん中でもできるすばらしい実践です。日南病院では年間を通じて常に「空きベッド」をつくるようにしています。在宅療養患者さんに急変があったとき、すぐに入院できるという「安心」を家族にもってもらうことで在宅医療は成り立ちます。在宅医療の展開の中で最も重要なことは、家庭で要介護者を支える家族の協力です。患者さんの家族との信頼関係、連携を持つという意味で「住病連携」と呼ばれています。

地域医療の目的は、生活自立障害を持つ方を支える地域の力を向上させることであり、高齢者がいきいき活動できる人権意識にあふれたまちづくりの貢献につながります。

今月のビデオ

「Jun & Kei の企業と人権」

シリーズ第1弾

(2006年、VHS/カラー/30分)

今、企業にとって時代のキーワードは「人権・環境・安全」といわれます。

しかし、「人権問題って、本当に必要なの？」の声がまだまだ多いのが現実です。そんなニーズに真正面から応えた本作品は、「個人情報」「男性・女性」「障がい者」「外国人」「部落差別」、それぞれのテーマについての初級・入門編です。

シリーズ第1弾は、まず人権漫才が視聴者の皆さんをエスコート、職場・地域での身近な事例をとりあげながら、再現ドラマ・ドキュメンタリー・デジタル劇画など多彩な手法で描く、30分ノンストップビデオ。

「これから学習を始めていこう！」そんな企画をサポートする最適の研修ソフトの誕生です。(対象:一般)



「人権感覚のアンテナって？」

人権侵害・差別がみえてくる

(2006年、VHS/カラー/39分、字幕入り)

何気なく悪気なく、また自分にとって都合が良いからといって、結果、人をおとしめ、苦しめてしまう落とし穴。知らない、見えない、考えないから生み出される、誰もが陥りやすい落とし穴だからこそ、偏見や差別、人権侵害について正しく知り、話し合い、学びあうことが大切です。そして、人権感覚のアンテナをはり、私たちの日常生活における意識と行動を見直してみましよう。(対象:一般)

第1部【ドラマ部】

ドラマ構成による問題提起

第2部【解説部】

ドラマを再現し、意識や行動を考える



第5回「誰でも人権談話室」は…

同和地区現地研修～同和問題から学ぶ～

10月10日(火)9:40～12:00

場所 米子市内同和地区

講師 木村正登 さん

(部落解放同盟米子市協議会副議長)

10月1日は「福祉用具の日」

福祉用具は、高齢者や障がい者の自立に役立ち、介護する方の負担を軽減するもので、車いすや介護用ベッド、シャワーチェアなどたくさんものがあります。身体機能の低下した高齢者や、障がい者の日常生活や社会参加にとって大切なものですが、一般的にはなじみが薄く、特別なものと感じる人がいます。そこで、広く知ってもらうために「福祉用具の日」がつけられました。

館長の

人権コラく

敬老の日になみ、従来長寿者名簿が発表されていましたが、個人情報の第三者への提供を原則禁止した個人情報保護法の趣旨に沿い、米子市を含む多くの自治体が、名簿の広報誌掲載を見送っています。

米子市の100歳以上の高齢者は36名で、最高齢者は106歳の女性です。特に敬意を表し、最高齢者2名については、ご本人の同意を得て県下のほかの高齢者とともに、鳥取県から公表されました。



米子市人権情報センター(人権政策課内)

URL: <http://yonago-city.jp/jinken/>

米子市東町161-2 Tel.0859-37-3183 Fax0859-37-3184